

第58回技能五輪全国大会「和裁」職種競技課題

統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に付下げ女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 使用工具等は、「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。
ただし、障害がある場合は、その程度に応じて必要とする工具等の使用を認めるので、事前に 全国和裁着装団体連合会 03-3816-1858 に連絡すること。
当日の申告は不可とする。
- (2) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (3) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (4) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (5) 競技終了時刻になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (7) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

3 仕 様

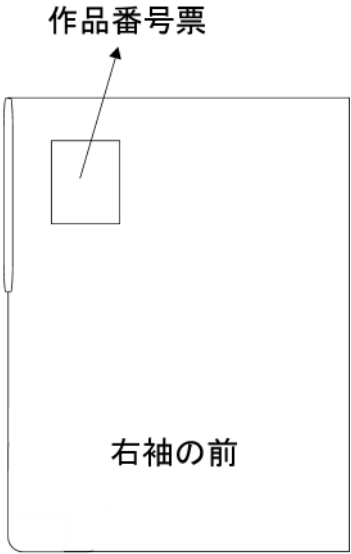
- ・ 仕立て寸法 身丈・・・背から4尺2寸
 袖丈・・・1尺3寸
 衿・・・1尺7寸5分
 袖巾・・・9寸
 袖付・・・6寸
 袖口・・・6寸
 後巾・・・8寸
 前巾・・・6寸5分
 抱巾・・・6寸5分
 衽巾・・・4寸
 合襖巾・・・3寸8分
 繰越・・・5分
 襖下・・・2尺1寸
 その他の寸法は標準寸法に準ずる

- ・ 特殊加工(ガード加工など)はしないこと

- (1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。
 右そで、えり先布と裏おくみのこはぎ、裏は胴裏、裾回し（八掛け）胴はぎまで
 （胴裏の背縫いは自由とする）。
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。
 左そでと表身ごろ、裏身ごろ前幅のしるし付け（へら付け）をし、おくみ付けから
 仕上がりまで。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表
 裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。
- (6) 共えり及びつま下（えり下）のしつけは、事前に行ってきたてはならない。
- (7) しつけの種類は自由とする。
- (8) 三つえり芯の長さは8寸（30cm）以内とする。
- (9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。
- (10) 裏えり、胴はぎの縫込みは、止めても止めなくてもよい。ただし、他の縫込みは止
 めてはならない。
- (11) 耳がつれる理由での切り込みはよしとする。ただし、耳を切り落としてはならな
 い。切り込みの深さは1分5厘までとする。

注:すべての箇所についての幅のしるし付け（へら・チャコ等）、折りは
 してきてはいけない。ただし表、裏のおくみのしるしは自由とする。

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



4 支給材料

付下げ表地・八掛・胴裏

5 競技日程

1 1 月 1 3 日（金） 下 見 集合時刻：1 2 時
終了時刻：1 2 時 3 0 分

1 1 月 1 4 日（土） 競 技 集合時刻： 8 時 2 5 分
説明検品： 8 時 3 0 分～8 時 5 5 分
競技開始： 9 時～1 2 時
休憩： 1 2 時～1 2 時 4 5 分
競技再開：1 2 時 4 5 分～1 5 時 4 5 分
終了時刻：1 5 時 4 5 分

1 1 月 1 5 日（日） 競 技 集合時刻： 8 時 4 0 分
競技開始： 9 時～1 2 時
終了時刻：1 2 時

6 採点項目等

採 点 項 目		配 点
作品採点	仕 様 誤 り	100
	で き ば え	
作 業 態 度		